

1 目的

不登校の児童生徒や保護者との関わりの中で教員が課題と感じていることや、各学校における取組状況等について調査することにより、今後の不登校対策の充実に資する。

2 調査項目の概要

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・学校種、校務分掌等の基本情報（N○1～4） ・指導経験の有無、家庭や教育支援センター、民間の支援機関や福祉の専門機関との連携における課題（N○5～16） ・校内体制や研修制度、未然防止や早期対応の課題（N○17～23） | <ul style="list-style-type: none"> ・未然防止、早期対応、支援の好事例（N○24～26） ・「学校生活における意識調査」「不登校の保護者の支援ニーズ等に関する調査」結果から感じたこと（N○27） |
|--|--|

3 調査対象

総合教育センター主催下記研修受講者

対象者職名	研修名	受講者数
教諭	初任者研修、2年目研修、3年目研修、5年目研修、中堅教諭等資質向上研修	2,010
養護教諭	新規採用研修、5年目研修、中堅研修	60
教頭	新任教頭研修、2年目研修	328

4 調査期間

令和6(2024)年11月～令和7(2025)年1月 ※各研修の実施日に併せて本調査を実施

5 調査方法

Microsoft Forms を活用した Web 回答

6 スケジュール

- ・10月24日(木) 第3回不登校総合対策検討委員会での検討
→ 各委員から追加意見(10月29日(火) 〆切) → 最終案の各委員への送付・確認(10/31(木) 〆切)
- ・11月～ 調査開始
- ・12月下旬 不登校総合対策委員会にて経過報告
- ・2月 不登校総合対策検討委員会において調査結果の報告

「質問項目一覧（暫定版）」（2024.10.22 時点）

1 勤務校の学校種を選んでください。

小学校・義務教育学校前期課程
中学校・義務教育学校後期課程
高等学校 全日制
高等学校 定時制
高等学校 通信制
特別支援学校 小学部
特別支援学校 中学部
特別支援学校 高等部

2 職名を選んでください。

教諭
養護教諭
副校長・教頭

3 現在受講している研修名を選んでください

（教諭） 初任者研修
（教諭） 教職2年目研修
（教諭） 教職3年目研修
（教諭） 教職5年目研修
（教諭） 中堅教諭等資質向上研修
（養護教諭） 新規採用養護教諭研修
（養護教諭） 養護教諭5年目研修
（養護教諭） 中堅養護教諭資質向上研修
（教頭） 新任教頭研修、教頭2年目研修

4 現在の校務分掌について、あてはまるものを全て選んでください。

担任
学年主任（年次主任）
児童指導主任、生徒指導主事
教育相談主任
特別支援教育コーディネーター
上記にあてはまるものがない

5 あなたは、これまでの教職経験の中で、不登校児童生徒（不登校傾向を含む）や保護者への指導・支援に関わったことがありますか。

あった

なかった

6 5で「あった」と回答した方にお聞きします。家庭との連携についての課題について、あてはまるものを全て選んでください。（ここから最後まで質問は、あなたが把握している範囲で御回答ください。勤務校に確認いただく必要はありません）。

勤務時間内に保護者への連絡がとれない場合がある

勤務時間内に家庭訪問が困難な場合がある

家庭への連絡の頻度や方法が適しているか分からない

児童生徒本人と会えず、本人の気持ちを直接聞くことができない

児童生徒の希望と保護者の希望が合致しているかどうか分からない

学校の対応について、保護者の理解と協力を得ること

保護者が子どもへの関心が薄いこと

学校では対応が困難な要求への対応

保護者からの連絡がない、もしくは連絡を断られて対応に困る

出欠連絡の方法や家庭訪問の実施の有無、学校からの配付物の配付方法、登校の際の配慮等について、児童生徒や保護者との相談

特にない

よく分からない

その他（自由記述）

7 あなたの学校に校内教育支援センターは設置されていますか。

- されている
- されていない

8 7で「されていない」と回答した方にお聞きします。別室等での対応はありますか。

- ある
- ない

9 5で「あった」と回答した方にお聞きします。校内教育支援センターや別室等の課題について、あてはまるものを全て選んでください。（設置していない場合は、設置を想定して御回答ください）

- 別室の設置について、職員の理解を得ること
- 専用の部屋や備品の確保
- 担当する教職員の配置や確保
- 利用開始するための判断や手続き
- 個に応じた学習教材の準備
- 個に応じた指導・支援
- 利用希望者の多さへの対応
- 利用を希望しない児童生徒への対応
- 家から出られない児童生徒への対応
- 特にない
- よく分からない
- その他（自由記述）

10 5で「あった」と回答した方にお聞きします。スクールカウンセラーの活用についての課題について、あてはまるものを全て選んでください。

- どのような専門性があるかよく分からない
- どのような場面でスクールカウンセラーにつながるとよいのか分からない
- 相談させたい時とスクールカウンセラーの来校日が合わない
- スクールカウンセラーから有益なアドバイスが得られない
- 利用希望者の多さに対応できない
- 相談を促しても本人や保護者が希望しない
- スクールカウンセラーと合わない場合がある
- スクールカウンセラーが教職員の相談に対応する時間がとれない
- 家から出られない児童生徒の利用が難しい
- 特にない
- よく分からない
- その他（自由記述）

11 5で「あった」と回答した方にお聞きします。スクールソーシャルワーカーの活用についての課題について、あてはまるものを全て選んでください。

- どのような専門性があるかよく分からない
- どのような場面でスクールソーシャルワーカーにつながるとよいのか分からない
- 相談させたい時にスクールソーシャルワーカーの来校日と合わない
- スクールソーシャルワーカーから有益なアドバイスが得られない
- 利用希望者の多さに対応できない
- 相談を促しても本人や保護者が希望しない
- スクールソーシャルワーカーと合わない場合がある
- スクールソーシャルワーカーが教職員の相談に対応する時間がとれない
- 家から出られない児童生徒の利用が難しい
- 特にない
- よく分からない
- その他（自由記述）

12 (市町立学校の教員のみ回答) 5で「あった」と回答した方にお聞きします。市町の教育支援センター(教育委員会が設置する不登校の児童生徒に対して学習支援や相談等を実施する施設)の活用の課題について、あてはまるものを全て選んでください。

利用開始するための判断や手続き

市町の教育支援センターにおいて学習したものの評価の仕方

市町の教育支援センター利用日の出席扱いの手続き

市町の教育支援センター職員との連絡・調整

保護者による市町の教育支援センターへの送迎が難しく、思うように利用できない

相談を促しても本人や保護者が希望しない

家から出られない児童生徒の利用が難しい

教育支援センターの機能がよく分からない

特にない

よく分からない

その他(自由記述)

13 (県立学校の教員のみ回答) 5で「あった」と回答した方にお聞きします。教育支援センター(教育委員会が設置する不登校の児童生徒に対して学習支援や相談等を実施する施設)の課題について、あてはまるものを全て選んでください。

県立学校の児童生徒が利用できる教育支援センターがない

県立学校の児童生徒が市町の教育支援センターを利用するための判断や手続き

教育支援センターの機能がよく分からない

特にない

よく分からない

その他(自由記述)

14 5で「あった」と回答した方にお聞きします。民間の支援機関（フリースクール、居場所等）との連携についての課題について、あてはまるものを全て選んでください。

どのような民間の機関があるか分からない（民間の機関ごとの機能の違いが分からない）
連携を開始するための手続き（情報共有、対応方針の検討、個別対応の共有）に時間がかかる
出席扱いの判断
個々の児童生徒の学習内容や活動内容の把握
特にな
よく分からない
その他（自由記述）

15 5で「あった」と回答した方にお聞きします。福祉の専門機関（児童相談所、精神保健福祉センター、地域包括支援センター等）との連携についての課題について、あてはまるものを全て選んでください。

どのような福祉の専門機関がどこにあるか分からない（専門機関ごとの機能の違いが分からない）
連携を開始するための手続き（情報共有、対応方針の検討、個別対応の共有）に時間がかかる
出席扱いの判断
個々の児童生徒の学習内容や活動内容の把握
家庭のデリケートな問題のため本人や保護者の同意を得ることが難しく、家庭問題に関する専門機関（保健センター等）をどのように紹介したらよいか分からないこと
特にな
よく分からない
その他（自由記述）

16 5で「あった」と回答した方にお聞きします。オンラインを活用した支援の課題について、あてはまるものを全て選んでください。

オンラインを活用した学習支援の準備時間の確保
機材の整備が不十分
オンラインを活用するためのノウハウがない
配信するための回線が弱い
対面授業を実施しながらオンライン配信することが難しい
オンラインでは授業に集中できない
不登校児童生徒の家庭におけるインターネット環境がない、または、不十分
特にない
よく分からない
その他（自由記述）

17 校内体制の課題について、あてはまるものを全て選んでください。

不登校児童生徒の学習評価（通知表や指導要録への記載、履修認定、単位認定等）
配慮を要する児童生徒へのきめ細やかな対応や、関係教職員の共通理解
気になる児童生徒についての同僚への相談のしやすさ
ケース会議（児童生徒への支援の目標や方向性、具体的な対応策などを検討）の有効活用
児童生徒や保護者へのきめ細やかな対応をするための時間の確保
（不登校に限らず）相談しやすい職員間の人間関係
児童生徒の問題を特定の先生の責任にせず、複数の先生が課題の解決を一緒に考え、助け合える関係づくり
管理職の理解や教職員とのコミュニケーション
情報交換会（生徒指導連絡会、教育相談部会など）の定期開催
特にない
よく分からない
その他（自由記述）

18 不登校に関して、どのような研修があるとよいと思いますか。あてはまるものを全て選んでください。

児童生徒の心理や病気に関する知識に関する研修
児童生徒の個別の状況に合わせた指導・支援に関する研修
児童生徒間の人間関係形成の支援（絆づくり）に関する研修
児童生徒間の人間関係形成の問題の解決に関する研修
児童生徒との関わり方やコミュニケーションの方法等に関する研修
保護者との関わり方やコミュニケーションの方法等に関する研修
実際に不登校を経験した児童生徒、保護者の悩みに関する研修
特にない
よく分からない
その他（自由記述）

児童生徒や保護者へのきめ細かな対応や不登校の未然防止や早期対応等を充実するために課題と思うことについて、あてはまるものを全て選んでください。

19 未然防止…全ての児童生徒にとって学校が安心・安全な居場所となるための取組（全ての児童生徒が学校に来ることを楽しいと感じて学校を休みたいと思わせないような日々の学校生活を充実させる、どの児童生徒も落ち着ける居場所をつくる、全ての児童生徒が活躍できる場面をつくる 等）

早期対応…不登校の「兆候」がみられる児童生徒の早期対応（児童生徒の心の小さなSOSを早期に発見して相談につなげる、欠席が数日の段階から児童生徒の状況に応じた働きかけを行う 等）

持ち時間数や部活の指導、その他雑務が多く、子どもにじっくり対応する時間の余裕がない

多忙で児童生徒の小さな変化に気付く心の余裕がない

児童生徒同士が人間関係の絆づくりを築く授業や場面を設けられない（教育内容過多等により）

児童生徒同士が人間関係の絆づくりを築くための指導や支援の方法が難しい

児童生徒の問題が、SNS等におけるものなど複雑化しており、早期発見や対応が難しい

不登校の未然防止、早期対応等に関する知識が教員に乏しい

どの児童生徒にとっても分かりやすい授業づくり

児童生徒が安心して過ごせる居場所づくり

児童生徒の悩み等を早期発見するための仕組みづくり

児童生徒の悩み等への早期対応に向けた教職員同士、家庭、専門機関等との連携・協働

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携・協働

管理職の理解を得ること

特にない

よく分からない

その他（自由記述）

20 子どもが相談しやすい環境づくりに関して課題と思うことについて、あてはまるものを全て選んでください。

児童生徒が相談したい時に相談できない（教員が多忙、カウンセラーの来校日が少ない等）

教育相談（面談）の際に、児童生徒が担任以外の教員との相談を希望できない

教員たちが児童生徒の声をしっかり聴き入れる意識づくりが不足している

教職員の相談に関するスキルや力量が不十分

児童生徒が自分の悩みを訴えやすくする工夫が不足している

教員が適宜情報共有する時間を持ち、配慮生徒に意識的に声掛けが不足している

児童生徒が相談しやすい場所や部屋の設定、環境維持・向上が不足している

特にない

よく分からない

その他（自由記述）

21 あなたの学校では、ケース会議（児童生徒への支援の目標や方向性、具体的な対応策などを検討）を開催していますか。

週 1 回程度

2 週間に 1 回程度

月 1 回程度

学期に 1 回程度

必要がある時に随時

実施していない

実施しているかどうか分からない

その他（自由記述）

22 あなたの学校では、不登校の児童生徒や保護者に次の関係機関等についての情報提供を実施していますか。

スクールカウンセラーへの相談方法や相談できる内容

スクールソーシャルワーカーへの相談方法や相談できる内容

市町の教育支援センターの利用方法

市町が設置する福祉の支援機関（保健センター等）の情報

県が設置する福祉の支援機関（児童相談所、健康福祉センター等）の情報

民間の支援機関（フリースクールや居場所、親の会等）の情報

医療機関の情報

実施していない

実施しているかどうか分からない

その他（自由記述）

23 あなたの学校では、不登校児童生徒及び保護者の対応について、次の専門機関等との連携を実施していますか。

スクールカウンセラー

スクールソーシャルワーカー

市町の教育支援センター

市町教育委員会

市町が設置する福祉の支援機関（保健センター等）

県が設置する福祉の支援機関（児童相談所、健康福祉センター等）

民間の支援機関（フリースクールや居場所、親の会等）

医療機関

実施していない

実施しているかどうか分からない

その他（自由記述）

24 不登校の「未然防止」に向けて、あなた自身またはあなたの学校で取り組んでいること（取り組んだことがあること）でうまくいったことがあれば、自由に記述してください。
自由記述

25 悩みを抱える児童生徒（不登校になる前の状態）への「早期対応」について、あなた自身またはあなたの学校で取り組んでいること（取り組んだことがあること）でうまくいったことがあれば、自由に記述してください。
自由記述

26 不登校児童生徒への「支援」に向けて、あなた自身またはあなたの学校で取り組んでいること（取り組んだことがあること）でうまくいったことがあれば、自由に記述してください。
自由記述

27 「学校生活における意識調査」「不登校に関する保護者の支援ニーズ等に関する調査」を見て感じたことを自由にお書きください。URL：
自由記述